

全日本中学校技術・家庭科研究会

第22回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会実施要項

1 目 的

- (1) 中学校技術・家庭科での学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストはひとつの授業の場として、参加者が互いに工夫点や機能性、構造等を学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合う。

2 方 式

地区大会は各地区大会の運営に準ずる。対面式、オンライン式で代表を選出してもらう。

全国大会は ZOOM を使用したオンライン方式で行う。各会場および参加会場の学校と ZOOM で接続し、本部中継による同時配信を行い、競技を行う。競技はトーナメント対戦とし、PR 動画や PR タイムなど総合的に判断をして、賞を決定する。

3 期 日

令和5年 1月28日(土)・29日(日)

4 会 場

- (1) 1月28日(土) 競技 (ZOOM開催予定)

※ オンライン開催の場合 → 中継会場：東京都中央区立銀座中学校

1月29日(日) 表彰 Webにて発表 接続なし

5 競技部門

- (1) 基礎部門 「Ace in the hole2」

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できるロボットの部門。

中学3年間で1度のみ参加が可能。→ 今年度は複数回参加に変更

- (2) 計測・制御部門 「ドキドキ!ロボット収穫祭 ～「スマート農業」に挑戦!～」

中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で参加できるロボットとプログラミングの部門。

中学3年間で複数回参加が可能。

- (3) 応用・発展部門 「支援物資を運搬せよ!」

中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットの部門。

中学3年間で複数回参加が可能。

- (4) パフォーマンス部門

技術・家庭科の全内容を対象にした動画作品部門。例えば栽培育成の記録や地域の料理を紹介するなど授業の取組を動画として発表する。

6 日 程 オンライン開催を主とした日程

0日目(27日:金) 各地区にて準備

16:00 会場準備 ～各部門ごとに接続確認とカメラアングルの確認、コートの確認を行う。

1日目(28日:土)ー中継拠点:東京都中央区立銀座中学校(昨年度、基礎部門は埼玉県で運営)

- 8:30 各役員が各会場に集合、打ち合わせ
- 9:00 ZOOMにて各県受付、接続確認及びカメラアングルの最終確認
※ 接続時に指定のカメラアングルの状態で接続をすること
- 9:50 各会場の審判の先生方によるルール確認
※ ルール提案地区よりルールの説明と確認

- 11:15 ZOOMにて開会式(生徒視聴)
 - ① 開会の言葉 ② 事業部長挨拶 ③ 来賓挨拶 ④ 審査員紹介及び挨拶
 - ⑤ 選手宣誓 ⑦ 閉会の言葉 ⑧ 諸連絡

12:00 各部門トーナメント開始

～ 部門ごとにより進行が早まる可能性あり ～

12月中に対戦形式をアップ更新します

- 16:00 閉会式(生徒視聴) ～ 進行により早まる可能性あり
 - ① 開会の言葉 ② 講評 ③ 閉会の言葉 ④ 諸連絡

審査結果と賞については、29日(日)以降、HPの掲載にて確認

7 参加資格・申し込み方法

- (1) 各都道府県の中学校に在学する生徒で、校長及び都道府県技術・家庭科研究会長が参加を認めた者とする。
- (2) 各ブロック大会において選抜され、ブロック中学校技術・家庭科研究会会長の推薦を受けたものとする。
- (3) 申し込みについては、創造アイデアロボットコンテスト全国大会の Web ページを参照してください。
(<http://ajgikane.jp/~robo/>)

8 参加費について

参加費については、指定口座に各支部長が振り込みを行う。

9 参加チーム数

- (1) 「基礎部門」「計測制御部門」「応用発展部門」各24チーム
 - 北海道ブロック 3 東北ブロック 3 関東・甲信越ブロック 3
 - 東海・北陸ブロック 3 近畿ブロック 3 中国・四国ブロック 3
 - 九州・沖縄ブロック 3 運営担当枠 3
 - ※運営枠 東京都(全体)、埼玉県(全体)九州・沖縄地区(基礎部門)
中国・四国地区(計測・制御部門) **九州・沖縄地区(応用発展部門)**
 - ※欠員が出た場合の補充は行わない。

- (2) パフォーマンス部門 各ブロック5チーム

10 競技とPRについて

- (1) 競技内容については、「創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会公式HP」を参照してください。
- (2) 大会はオンラインによるリモートで参加してもらいます。
- (3) コロナの感染拡大により県をまたぐ移動が不可能になることも予測されるため、出場に際はは都道府県単位で会場を準備してください。また「車検」、「タイマー」、「撮影」、「オンライン調整」、「審判」等の役割分担が発生するため、出場校単独(教員1名)にならないよう都道府県内で協力体制をご準備ください。県を跨ぐ移動が制限された場合は、自校の生徒及び教員で対応することを特別に認める。
- (4) 競技終了後、敗者チームは審査員による質疑応答に答え、ロボットのPRを行う。

11 使用機器

- (1) ZOOM4回線（各競技3回線+審査員1回線）
- (2) 競技会場ごとにZOOMに接続するためのパソコン端末1台
- (3) 本部は各部門2台で3部門合計6台 → 株式会社SSマーケットより6台レンタル
- (4) PR動画視聴用タブレット3台 → 株式会社SSマーケットより3台レンタル

12 表彰について

文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、特許庁長官賞、(公財)つくば科学万博記念財団理事 長賞、全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞、日本産業技術教育学会賞、(公社)全国中学校産業教育教材振興協会賞、審査員特別賞、競技順位賞(1位~3位)

13 審査の基準について

製作したロボットの、機構、機能、効率、工夫や創造、加工精度や操縦技能、チームワーク等を審査し、試合の勝敗を加味しつつ審査するものとする。また部門により特性があるので、部門に応じて審査項目および配点を決定する。

14 各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者のメーリングリスト登録について

各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者は、メーリングリストの登録手続きを必ず行ってください。詳細につきましては、Webページをご覧ください。

15 保険の加入について

各地区で移動が必要な場合は、その都度、判断をして加入してください。

16 質問・問い合わせ

各都道府県ロボコン担当者又はブロックフェア担当者を通して問い合わせください。ルールについては、ロボコングループメールにて対応します。各都道府県ロボコン担当者やブロックフェア担当者には問い合わせないでください。グループメールへの参加はWebページで確認してください。

17 その他

- ① 会場へは入館できません。(但し、各会場判断でライブビューイング等は可とした)
- ② リモートでの参加の場合の服装は「制服」で参加してください。制服のない学校においては「正装の扱いとなりうる服装」で参加してください。
- ③ 新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言等で要項の内容が変更する場合があります。

18 改訂部分

R4.12.5 → 応用発展部門の運営枠に決定。12月中に対戦形式のアップ予告。
ノートPCとタブレットのレンタル追加

問い合わせ
全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト運営事務局
江戸川区立春江中学校 村山 瑛雄
〒132-0003 東京都江戸川区春江町2-47-1
TEL 03-3678-9241 E-mail: aidea.robokon@gmail.com